

プロネクサスベトナム現地レポート

(2022年1月 VOL.30)

プロネクサスベトナムが、2021年12月のベトナム現地情報をお伝えいたします。
 今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。

【FDI 動向の概要（2021年1月1日～12月20日）】*12月の数値は20日時点の値

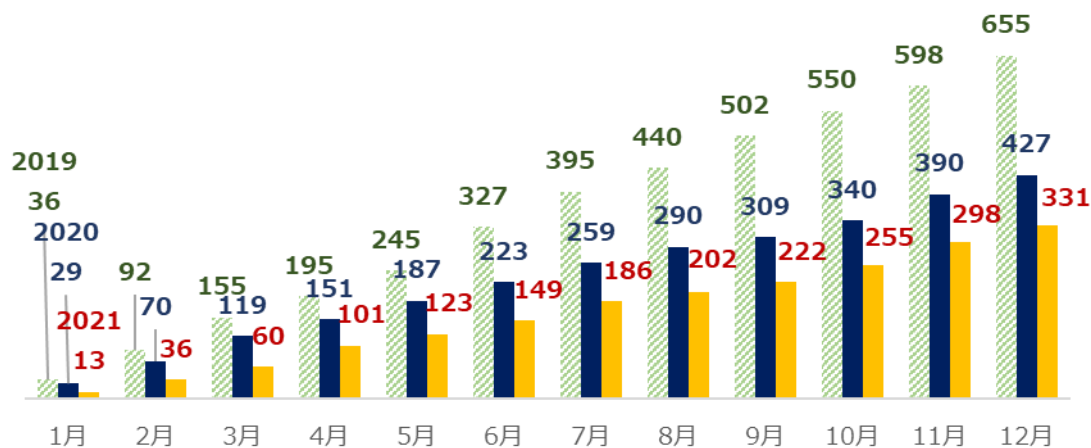
【1】日本の対越投資動向

- 日本の2021年1月1日から12月20日までのFDI投資額は約38億97万USドル
 (*2020年同期間：約23億67万USドル、164.6%)
- 日本の2021年1月1日から12月20日までのFDI投資件数は、540件 (*2020年同期間：950件、56.8%)
- 証券投資件数を除いた日本の2021年1月1日から12月20日までのFDI投資件数は、331件 (*2020年同期間：427件、77.5%)

*下グラフ参照

*証券投資を除くFDI投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。

【比較】新規投資件数の推移：2019年から2021年の累計件数の推移



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2021年12月の値ですが、海外からのベトナムへの直接投資は、106の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約107億
2位	韓国	約50億
3位	日本	約39億
4位	中国	約29億
5位	香港	約23億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	1,942
2位	中国	754
3位	シンガポール	646
4位	日本	540
5位	台湾	333

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2021年1月1日～12月20日）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 火力発電所建設プロジェクトで約13億USドル（日本）2021/1
- ▶ 発電所建設プロジェクトで約31億USドル（シンガポール）2021/3
- ▶ Far Eastern Polytex 工場に約6億USドル追加投資（台湾）2021/5
- ▶ クラフト紙の工場プロジェクトで約6億USドル（日本）2021/7
- ▶ LG電子ハイフォン工場に約14億USドル追加投資（韓国）2021/8

上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較し61.7%程度で推移

*引用元：ベトナム外国投資庁

<12月の投資状況>

2021年12月までの外国からベトナムへのFDI投資をみると、コロナウイルスの影響で金額、件数ともに伸び悩んでいる状況にあります（対前年比 約61.7%程度）。

外国からベトナムへの新規プロジェクトへの投資は1,738件（対前年比68.8%程度）、金額は152億USドル（対前年比103.7%）。同様に外国からベトナムへの既存プロジェクトに係る増資に関しては、985件行われ（対前年比86.4%程度）、金額は90億USドル（対前年比140.6%）に達しました。

<2021 年ベトナム経済まとめ>

2021 年最後のコラムということで、ベトナム経済の 1 年を振り返ってきたいと思います。

今年も新型コロナウイルスの影響が各国の経済低迷をもたらしましたが、ベトナムの 2021 年の GDP 伸び率は+2.58%でプラス成長が続きました。しかし、この数値は 1986 年の+2.8%以来 20 年ぶりの過去最低値でした。また、コロナウイルス第 4 波の影響からベトナムの国内総生産 (GDP) の第三四半期 (7 月-9 月) は-6.17%まで落ち込みましたが、都市封鎖が解除されたことにより第四四半期 (10 月-12 月) は+5.22%まで回復しました。

2021 年の貿易収支は約 4600 億円の黒字となり記録的な増加となりました。輸出額は前年比+19%で約 38 兆 6600 億円、輸入額は+26.5%で約 38 兆 2000 億円でした。

品目の詳細をみると輸出金額が 1 番大きかったのは、携帯電話の約 6 兆 6000 億円で、前年比+12.4%でした。輸入額で 1 番大きかったのは、コンピューターなどの電子製品で約 8 兆 7000 億円、前年比+18.7%でした。

上記以外にも 2021 年は都市鉄道運行開始というビッグイベントもありました。ハノイで初のメトロ 2A 号線は 2011 年 11 月から建設が始まり、2015 年に運行が開始される予定でした。しかし、工事の遅れなどから何度も延期となり、2021 年 11 月に 10 年の時を経て運行開始となりました。当初の投資金額は約 436 億円でしたが、完成時には約 895 億円にまで上りました。今後市民の生活の一部として電車が受け入れられ、交通状況が現在より良くなることが望まれています。

2021 年もコロナウイルスが大きく影響した年でしたが、それに負けない成長と変化を遂げているベトナムの様子が伺えますね。オミクロン株の流行が心配ではありますが、2022 年もベトナムの経済発展を期待したいです。

*引用元:

NNA ASIA 「21 年成長率は過去最低 2.6%、4Qは 5.2%増」

<https://www.nna.jp/news/show/2281675> (参照 2022/01/04)

VIET JO 「ハノイで初のメトロ運行開始、着工 10 年の軌跡」

<https://www.viet-jo.com/news/special/211224195255-3.html> (参照

2022/01/04)

VIET JO 「2021 年のベトナム経済・社会を振り返る」

<https://www.viet-jo.com/news/social/211231181800.html> (参照 2022/01/04)

VIET JO 「21 年の貿易収支、40 億 USD の黒字(推定値)」

<https://www.viet-jo.com/news/statistics/211230011006.html> (参照

2022/01/04)

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）1月の動向について】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。